

**eSecu FIDO ボタンキー
FD200 ユーザーマニュアル
(V2.2)**

Excelsecu Data Technology Co., Ltd.

ACOT Electronics Inc.

株式会社エクセルセクデータテクノロジーの機密情報

本マニュアル、いかなる性質の保証を行うものではありません。すべての製品および関連文書に開示されている資料は、正式に締結されたプログラム製品のライセンスまたは機器の購入またはリースに関する契約の条件に従ってのみ提供されます。

このマニュアルに記載されている製品に関して、ExcelsecuTechnology が行う唯一の保証は、あるとすれば、当該ライセンス、または契約書に記載されている物のみです。

Excelsecu テクノロジーは、お客様が本情報またはソフトウェアを使用した結果として生じる直接的、間接的、特別または結果的な損害を含む金銭的またはその他の責任を受け入れることができません。

この情報および/またはソフトウェア資料の使用が、使用されている管轄区の規則および規制に準拠していることを確認するように注意してください。無断転載を禁じます。

Copyright©2020Excelsecu Data Technology Co., Ltd. 全著作権所有

目次

1. マニュアル
2. 製品概要
3. 製品写真
4. FD200 キーの基本操作
5. Google アカウントへの2段階認証ログイン
6. Microsoft アカウントへのパスワードなしログイン
7. FIDO Manager および OTP の使用法
8. FAQ
9. 製品仕様

1. マニュアル

名前

eSecu FIDO ボタンキーは、ExcelSecu 社では、eSecu FIDO2/FIDO・U2F セキュリティキー FD200, FD202, FD203 と呼ばれています。ACOT 社では感嘆のため、FIDO ボタンキーと呼び、ExcelSecu FIDO2セキュリティキー FD210、FD213 と合わせて FIDO キーと呼んでいます。FIDO ボタンキーと FIDO2 セキュリティキーの違いは、前者はスイッチ、後者は指紋認証システムが本人確認のキー内認証である点です。

FIDO ボタンキーと FIDO2 セキュリティキー

ボタンタッチは、人間の存在を示すだけで、本人確認ができません。そのため、4桁、6桁、8桁などの数字の暗証番号 PIN と併用されています。つまり、FIDO ボタンキーの PIN とボタンタッチと、FIDO2 セキュリティキーの指紋認証が対応しています。また、それらの認証処理は、FIDO キー内部で行われます。そのため、その点を除くと登録や認証操作では両者に大きな差はありません。

有線・無線

また、FIDO キーはコンピュータの周辺機器として、コンピュータに接続して利用します。FD200 や FD210 は、USB TypeA のインターフェースで、デスクトップパソコンに接続します。スマートフォンには、NFC(近距離通信)や BLE(BlueTooth 低エネルギー)無線で接続します。NFC は、タッチするほど近くでのみ利用可能ですが、BLE は何メートルも離れていても通信可能です。

2. 製品概要

eSecu FD200 は、FIDO2 標準と FIDO・U2F 標準および HOTP アルゴリズムをサポートするハードウェア認証器です。二要素認証、多要素認証として、またはパスワードなし認証の要素、および OTP デバイスとして、ログイン保護が必要なネットワークアカウントへの安全なログインに利用できます。

- FIDO・U2F 対応のサービスとアプリケーションに対して、2段階認証の第2段階の認証として利用できます。1段階認証にはパスワードや暗証番号 PIN が使われます。Google Chrome ブラウザや Microsoft Edge ブラウザからのクラウドア

アカウントへの安全なログインに利用できます。また、OTP デバイスとして利用も可能です。

- FIDO2にも対応が可能で、Microsoft Edge ブラウザからクラウドアカウントへのパスワードなしログイン認証や Windows パスワードなしログインにも利用できます。

3. 製品写真



ボタンの点灯状態は次のとおりです。

- 白色光の点灯：FD200 キーをコンピュータの USB ポートに挿入され、動作していることを示しています。
- 白色光の点滅：FD200 キーは、認証要求の受信時に白色光が点滅します。ボタンを押してサインインを完了します。

4. FD200 キーの基本操作

4.1 登録(初回のみ)

- 1) ユーザー名とパスワードを入力して、FIDO2/FIDO・U2F をサポートするアプリケーションにログインします。
- 2) FD200 キーを USB-A ポートに挿入します。
- 3) アカウントに FD200 キーを追加します。

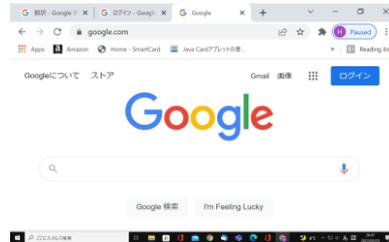
4.2 サインイン(登録完了後)

- 1) ログインする Web サイトを開きます。
- 2) 通常のユーザー名とパスワードを入力します。
- 3) 登録済みの FD200 キーをコンピュータに接続します。キーのボタンを押すだけで認証します。

5. Google アカウントへの2段階認証ログイン

5.1 Google 登録

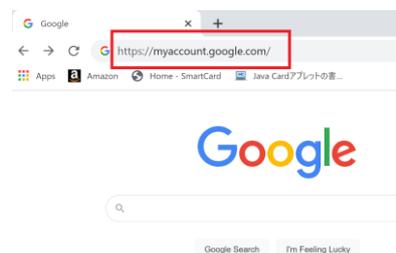
- 1) Web サイト <https://www.google.com/>に移動します。画面上の右上隅にある [ログイン] をクリックします。



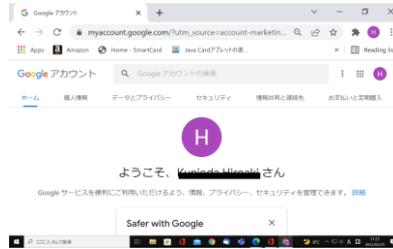
- 2) アカウント名とパスワードを入力して、ログインします。



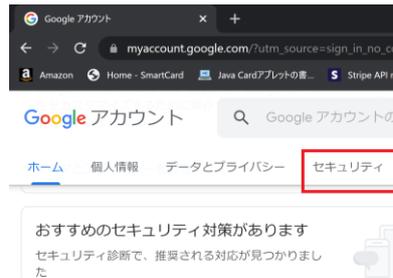
- 3) 正常にログインしたら、Google アカウント <https://myaccount.google.com/>へ移動します。



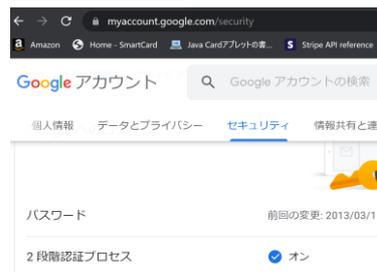
- 4) Google アカウントのセキュリティへ移動します。



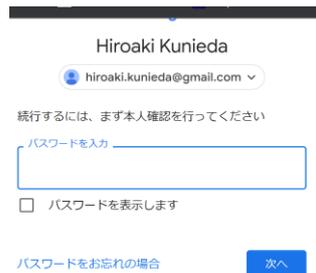
5) Google アカウントのセキュリティへ移動します。



6) [セキュリティ]モードで、[2段階認証プロセス]を選択します。



7) 再度確認のためのユーザー確認が求められます。



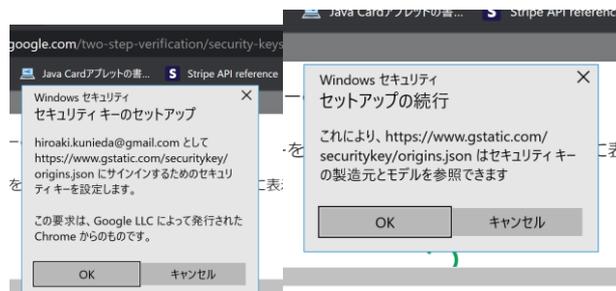
8) 利用できる 2 つ目の手順として [セキュリティキー]をクリックします。



9) 既存のセキュリティ キーが表示されますので、[セキュリティキーの追加]をクリックします。



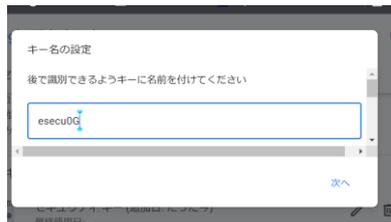
10) セキュリティキーのセットアップ情報のポップアップが現れます。FD200キーをコンピュータの USB 端子に挿入して、OK をクリックします。



11) FD200 キーの白色光が点滅しているときに、FD200キーのボタンを押します。



12) FD200 キーの適当な名前を付け、[完了]をクリックして終了します。



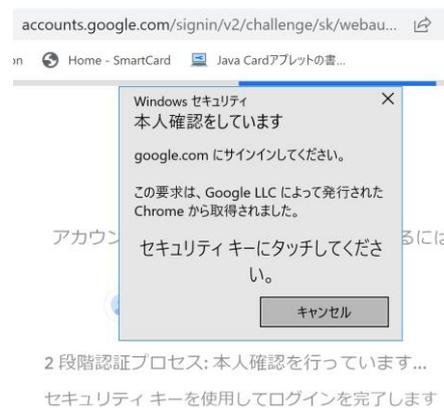
13) 登録が完了したメッセージが表示されます。



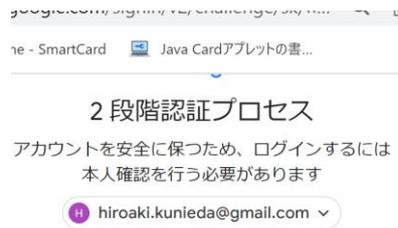
5.2 Google サインイン

- 1) 次の Web サイトにログインします:<https://www.google.com/>そして右上隅にある[ログイン]をクリックします。アカウント名とパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

- 2) .FIDO2 セキュリティキーを USB ポートに挿入するように求められます。キーの白色光が点滅しているときに、FIDO2 セキュリティキーのボタンを押します。



- 3) [次へ]をクリックしてログインします。

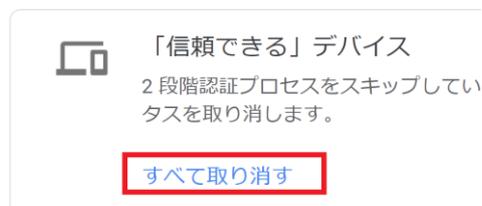


注:

- 1) デフォルトでは、「このコンピューターで再度質問しない」がオンになっています。チェックボックスをオンにすると、次のログインで 2 段階の確認がスキップされ、ユーザー名とパスワードを使用して直接ログインします。
- 2) 日常で使用している信頼できるデバイスでは、2 段階認証の第2段階の認証が省略されます。見た目はパスワード認証だけのように見えます。[Google アカウント/セキュリティ/2段階認証プロセス]の最後尾には、「信頼できる」デバイス欄があります。下の「すべて取り消す」をクリックして、信頼できるデバイスをクリアしますと、2段階目のスキップのない2段階認証を行います。

Google アカウント

← 2段階認証プロセス



7. Microsoft アカウントへのパスワードなしログイン

Microsoft Edge ブラウザと Windows10 オペレーティングシステム(システムバージョン 1809 以上)を使用する必要があります。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-hello-またはセキュリティキーで-microsoft-アカウントにサインインする-800a8c01-6b61-49f5-0660-c2159bea4d84>

Microsoft アカウントは、事前に作成しておく必要があります。ここでは記述していません。そのアカウントにセキュリティキーを利用したパスワードなしログイン機能を追加する形になります。

6.1 Microsoft 登録

- 1) 既存の方法でサインインし、[マイ Microsoft アカウント]をクリックします。

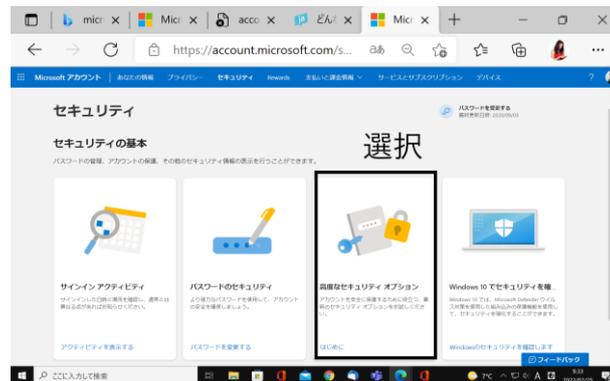
<https://account.microsoft.com/account/Account?ref=settings&Platform=Windows8.1&mkt=ja-JP>



- 2) [セキュリティ]をクリックし、ポップアップ画面で「セキュリティ ダッシュボード」をクリックします。

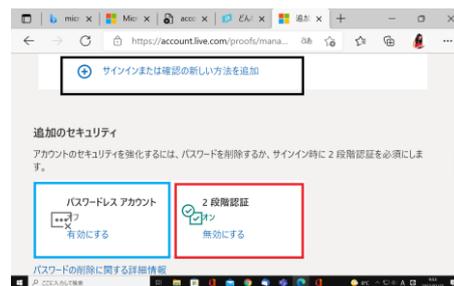


3) 「高度なセキュリティオプション」をクリックします。

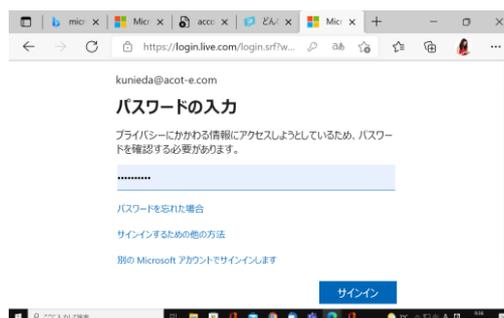


4) [サインインまたは確認の新しい方法を追加]をクリックします。このとき、その下の設定が以下になっていることを確認してください。

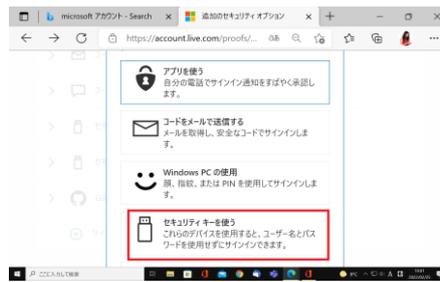
- パスワードレスアカウント:オン
- 2段階認証:オフ



5) 本人確認を求められます。



6) 認証に合格したら、[確認またはサインインのための追加の方法の選択]ページに入り、[セキュリティ キーを使う]をクリックします。



- 7) [セキュリティ キーの設定]に従って、FD200 キーを挿入します。そして、次へをクリックします。

セキュリティ キーの設定

キーの準備をします



USB セキュリティ キーを使用する場合は、指示に従って USB ポートに挿入します。次いで、キーにゴールドの円またはボタンがある場合は、後続の操作の指示に従って、それにタッチしてください。



キーの接続方法の詳細については、キーの製造元の Web サイトを参照してください。



- 8) 以下のポップアップ画面で[セットアップの設定]の説明があり、次へをクリックします。



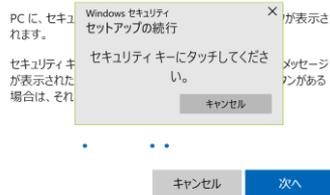
- 9) FD200 キーの暗証番号 PIN の入力が必要されます。PIN 入力の上、次へをクリックします。

新しいサインイン方法の設定



- 10) プロンプトが表示されたら、FD200 キーのボタンを押します。

新しいサインイン方法の設定



11) FD200 キーに名前を付けて、次へを押します。

セキュリティ キーの設定

新しいセキュリティ キーに名前を付ける

ヒント: 後でこれがどのキーだったかわかるように名前を付けます。

12) 登録が完了して、アカウントサイトに戻ります。

すべての設定が完了しました。

次回サインインするときは、パスワードでサインインする代わりにセキュリティキーを使えます。

[別のセキュリティキーの追加](#)

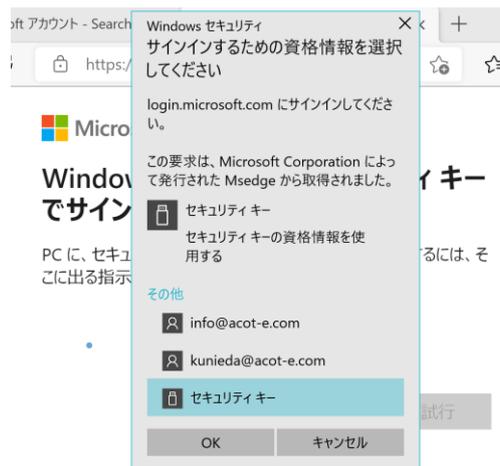
パスワードを入力してログイン		登録
最終変更日時	2020/09/03	使用対象
アカウントのサインイン		
パスワードの変更	アカウントの表示	
> コードメールで送信する	kunieda@acot-e.com	登録
> コードのSMS送信	9040792111	登録
> セキュリティキーを使う	eSecuKey0	登録
> セキュリティキーを使う	sjjtzucard	登録
> セキュリティキーを使う	ExcelSecu2021	登録
> QRコードアカウントでサインイン	hirakikunieda	登録
サインインまたは確認の新しい方法を追加		

6.2 Microsoft サインイン

- 1) マイクロソフトアカウントの「サインイン」サイトに移動します。
アカウント名を入力し、「Windows Hello またはセキュリティキーでサインイン」をクリックします。



- 2) 「セキュリティキー」をクリックします。



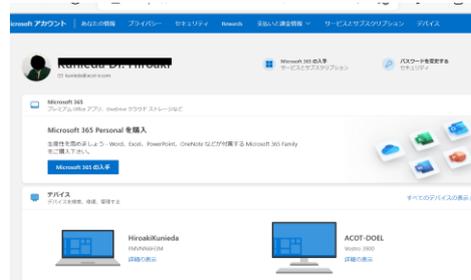
- 3) セキュリティキーの暗証番号 PIN を入力します。



- 4) プロンプトが表示されたら、FD200 キーを USB 端子に挿入します。更に、FD200 キーのボタンを押します。



- 5) 正常にサインインすると、アカウントへログイン完了します。



8. FIDO Manager および OTP の使用法

FIDO および OTP の構成に使用されるソフトウェア(TOTP / HOTP)は、「ExcellSecu Manager ユーザーマニュアル」のドキュメントに記載されています。詳細については、これを参照してください。

9. FAQ

質問: FD200 キーをコンピューターにインストールするにはどうすればよいですか？

回答: インストールする必要はありません。プラグアンドプレイです。

Windows、macOS、Linux、ChromeOS で動作します。

質問: 2 つの Gmail アカウントを持っています。2 つの Gmail アカウントを保護するために必要な FD200 キーの数はいくつですか？ 2 つのキーが必要ですか？

回答: 複数のアカウントで 1 つの FD200 キーを使用できます。しかし、それはお勧めしません。1 つまたは 2 つの Gmail アカウントを保護しているかどうかに関係なく、複数

のキーを登録することをお勧めします(サービスで許可されている場合)。

そうすれば、キーを紛失したり、破損したり、盗まれたりした場合でも、バックア

ップ

キーをすぐに使用できます。

質問: FIDO2 セキュリティキーを紛失した場合はどうすればよいですか？

回答: キーがすでに登録されている Web サイトにアクセスするだけです。アカウントなどの

Web サイトにリストされているデバイスを削除します。デバイスの利用は停止されます。このようなケースを想定して、2 つの FD200 キーをお勧めします。1 つは通常の使用用で、もう 1 つはバックアップ用です。

質問: この FD200 キーには NFC 機能がありますか？

回答: いいえ。FD202 と FD203 キーは、NFC 機能のある FIDO2/FIDO・USF キーです。

質問: この FIDO2 セキュリティキーには Bluetooth 機能がありますか？

回答: いいえ。FD203キーは、BluetoothとNFC機能のあるFIDO2/FIDO-USF キーです。

質問: どのアプリケーションが FIDO2 セキュリティキーをサポートしていますか？

回答: FIDO®U2F / FIDO2 をサポートするアプリケーションには、Google、Microsoft、Facebook、Dropbox、GitHub、Salesforce、Dashlane などが含まれます。

10. 製品仕様

項目	FD200
OS	Windows、macOS、Linux
ブラウザ	Edge、Chrome、Firefox、Opera、Safari
機能	FIDO®U2F、FIDO2、HOTP、TOTP
アルゴリズム	SHA256、AES、HMAC、ECDH、ECDSA
サイズ	44.7x16.0x9.0(mm)
インターフェース	USB-A
プロトコル	HID
データ保持	≥10 年
書き換えサイクル	≥100,000 回
動作電圧	5V±10%
動作電流最大	<40mA
ボタンシングル	シングルボタン
ボタン耐久性	≥100,000 回
動作温度	-10~60°C
動作湿度	10~90%
表示器光	白
材質	AL、PC
証明書	CE、FCC、RoHS、WEEE、FIDO2 L1